

1 作成趣旨等

(1) 作成趣旨

障害者職業総合センター職業センター(以下「職業センター」という。)においては、精神障害者職場再適応支援プログラム(ジョブデザイン・サポートプログラム、以下「JDSP」という。)により、職場復帰を目指す気分障害等による休職者に対し、職場適応能力の向上や職務再設計によるキャリア形成を支援する技法とともに、雇用する事業主に対して労働環境整備を推進するための支援技法の開発を行い、地域障害者職業センターで行われているリワーク支援等に資するために伝達・普及しています。

JDSPでは、受講者に対して、再発や再休職予防の観点から、発症や休職のきっかけとなった職業生活上のストレスを振り返り対処方法を検討しておくことを課題の一つとして取り上げていますが、受講者によっては職場の人間関係や職務上の問題等に対して怒りの感情を抱えているために対処方法の検討が進みにくく、円滑な職場復帰とその後の職場適応を実現していくためには、自身の怒りの感情に気づき対処法を理解する必要があります。

そこで、平成24～26年度にかけて「アンダーコントロール支援」を全ての受講者に対する講習と個別フォロー(個別相談やSST)という構成とし開発に取り組み、今般、その内容や具体的な進め方、留意点等をマニュアル形式で取りまとめることとしました。

(2) マニュアル活用の際の留意点

本マニュアルでは、「アンダーコントロール支援」の全体構成として、講習及び個別フォローの内容と実施方法、また留意点について紹介し、4回の講習においては具体的な進め方を解説しています。

巻末にはCD-ROMとDVDを各1枚添付していますが、CD-ROMには支援で用いる資料の電子データを、また、DVDには、①集団セッションの具体的な場面を紹介した「集団セッションの実践法」、②リーダーがレジユメを説明している「受講者用自習教材」を収録していますので、マニュアル本体と併せてご活用ください。

なお、本マニュアルは、職業リハビリテーション機関のスタッフが実施できるよう作成しましたが、怒りの感情は精神疾患による影響も大きいことから、実施上の留意点等について十分にご理解いただいた上で実施いただくことが望まれます。